

デジタルネイティブの高校生たちにアンケート。コロナ禍の人間関係構築や意思疎通に不自由を感じているのは、わずか 24%。

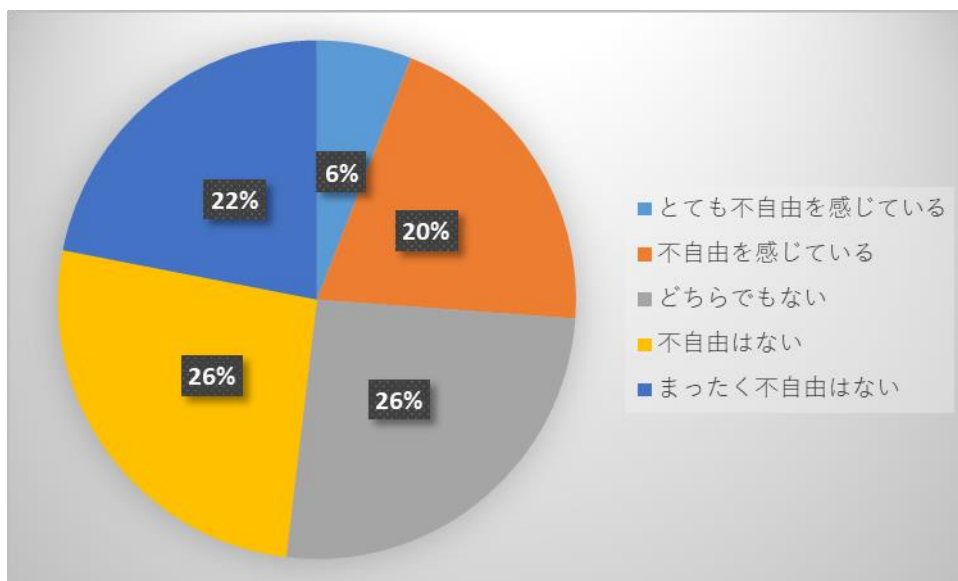
愛知県教育委員会が行っている、キャリア教育の促進を目的とした「キャリア教育コーディネーター活用事業」の支援活動として、2021 年 4 月に、株式会社アイソルートの教育サービス「コミュトレ」のインストラクターが愛知県立 三好高等学校に赴き、2 年生の生徒たちを対象とした「コミュニケーション研修」を行いました。

講義の後には、三好高等学校の生徒を対象としたコロナ禍におけるコミュニケーションに関するアンケートを実施しました。

以下は、調査期間 2021 年 4 月 23 日に、愛知県立三好高等学校 2 年生の男女 236 名（有効回答数）から回答を得たものです。

【調査結果】

1. コロナ禍で、友達や先生との人間関係の構築や意思疎通で、不自由を感じていますか？

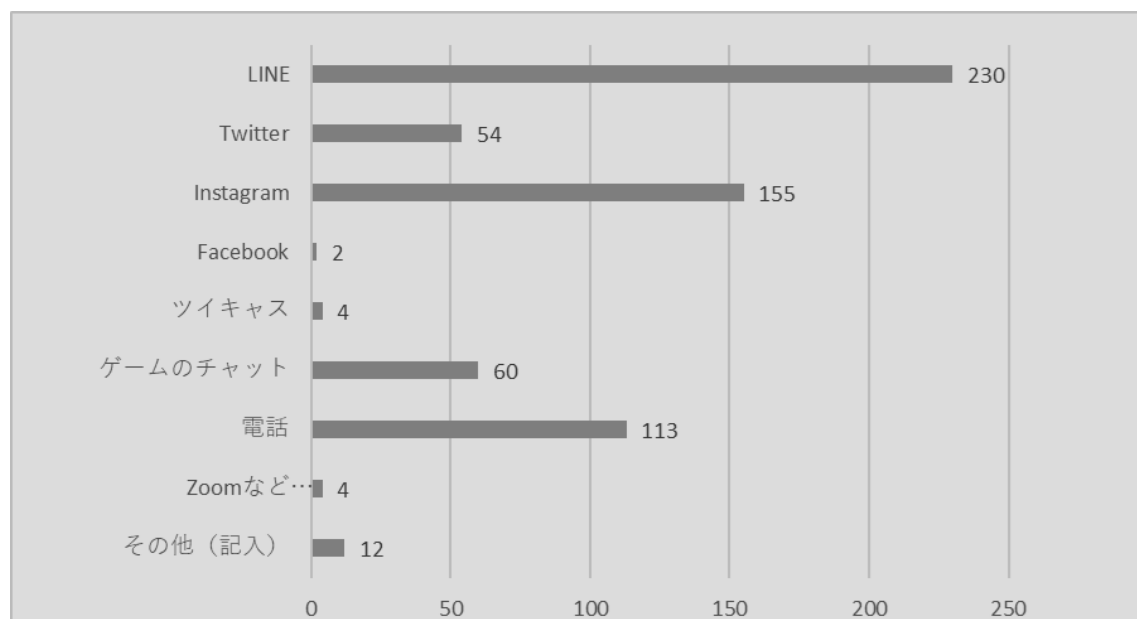


アンケートの結果、「まったく不自由はない」「不自由はない」と回答した生徒は全体の 48% となった。「不自由を感じている」「とても不自由を感じている」と回答した生徒は全体の 26% に留まり、大きく差がついた。

不自由を感じていない生徒からは「SNS や電話で友達とコミュニケーションがとれるから」という回答多く見られた。幼少期からすでに SNS が復旧しているデジタルネイティブ世代では、コロナ禍で直接会う機会が減っても、SNS や電話のコミュニケーションで十分に意思疎通と人間関係の構築ができるようだ。

一方で、不自由を感じている生徒からは「マスクをしているため、声がこもって聞こえづらい。表情が分からない」という回答が圧倒的に多かった。コロナ禍で不自由を感じているのは、対面のコミュニケーションだ。また、「気軽に遊びに行けない」という声も多く出ていた。

2. 友達とのコミュニケーションで何を使っていますか。当てはまるものを全て選んでください。



LINE は全体の 97% が使用。続いて、Instagram が全体の 66% であり、電話の 49% を超える割合となった。

SNS のデメリットについては、「文面だけでは、気持ちが伝わりにくい」「トラブルが起きやすい」という回答が圧倒的に多い結果となった。SNS を使用した人間関係の構築や意思疎通に不自由は感じないが、やはり対面でのコミュニケーションを求める声が多く見られ

た。

【調査実施：コミュトレについて】

株式会社アイソルートが運営するコミュニケーションスクール「コミュトレ」では、日本のビジネスパーソンのコミュニケーション能力を向上させるべく、目的ごとに 17 種類のコースを設け、実践トレーニングを行ってきました。受講生は実際にキャリアアップや職場の人間関係向上など、一定の成果を上げています。

会場トレーニング：東京、大阪、名古屋／オンライントレーニング：全国

本件に関する問い合わせ先

株式会社アイソルート コミュトレ推進部 広報担当 高原淳志

お電話: 03-6276-6200

メール: kouhou@isoroot.jp